

**1 平成 22 年度
石川地域づくり塾の報告**

開講式、開講プログラム
地域づくりコーディネーター研修
先進地視察
地域づくり活動団体に学ぶ

2
2
3
4
5

2 地域づくり活動紹介

どぼんこ・さるたひご地域協議会／じっくらーと

6

3 「いしかわ地域づくり円陣2010」を開催

われら win-win 同盟！
地元を元気にする協働のシカケとシクミ

7

4 NEWS & INFORMATION

イベント

8

いしかわ地域づくり 往来

[www.pref.ishikawa.jp/
shinkou/dukurikyou/](http://www.pref.ishikawa.jp/shinkou/dukurikyou/)

発行日／平成22年11月
発行／石川地域づくり協会
発行者／石川地域づくり協会事務局 事務局長 大霜 祥栄
〒920-8580 石川県金沢市鞍月1丁目1番地
石川県企画振興部地域振興課内
TEL.076-225-1312 FAX.076-225-1328

vol.8

I s h i k a w a L o c a l R e v i t a l i z a t i o n A l l R i g h t



お熊甲祭（平成 22 年 9 月 20 日 七尾市中島町 どぼんこ・さるたひご地域協議会）

1-a 平成22年度 石川地域づくり塾の報告

石川地域づくり協会では、地域づくり活動の担い手育成のための研修会「石川地域づくり塾」を実施しています。平成22年度の地域づくり塾は、当協会の地域づくりコーディネーターを講師に、団体内でリーダーの役割を担う方を対象として、年間を通して開催しています。今回は、終了した回について報告します。

開講式、開講プログラム

7月3日、4日の2日間、石川県青少年総合研修センターにおいて、森山奈美コーディネーターと濱博一コーディネーターを講師に、開講プログラムを行いました。

■ 7月3日

はじめに、森山コーディネーターから、「地域づくりにはひとつの答えがあるわけではありません。地域づくり塾は一方的な講演ではなく、一緒に考える場。現場に持ち帰って実践してください」と話が合った後、他己紹介によるアイスブレイキングで受講者の様々な参加目的の共有化をし、和やかに講義が始まりました。

初日は、「新しい公共とは」「ワークショップとは」「ファシリテーターとは」についての講義と、いくつかのワークショップを行いました。グループワーク「自分の地域を知ろう」では、受講者の地域紹介シートを基に、受講者同士が質問・回答を重ねながら各地域のことを伝えていきました。受講者が持っている情報が集まり、各自の地域を再認識する気づきやアイデア出しが行われました。ファシリテーターワークショップでは、各自が取り組みたい課題を基に、アイデア出しや質問を重ね、受講者それぞれが、課題を新しい視点

で見ることになり、気づいていなかった課題抽出もされました。

最後に「地域の課題を地域で解決するためには、対話する力、本質を見抜く力、つなぐ力、改善する力が必要」と話があり、「地域づくり塾を通して取り組む地域づくり課題」を設定し、初日の研修は終了しました。

■ 7月4日

濱コーディネーターの講義「企画とは何か」では、「自分の地域をどこまで知っているかの深さが企画の深さとなる」「企画書は共感を集めるツール、コンセプトを明らかにするもの」という話に加え、地域資源、地域資産、地域資本の関係、掘り起こしのヒント、地域ブランドについてなど、「企画を実現させるには」では、「人に伝えることは自分が理解や納得しないと自分の言葉として伝わらない」「仲間、体験、体得の場によりやる気になる」という話があり、企画を体系的に学びました。

後半はブレインライティング法を使ったワークショップを基に、「私のビジョン」「私がやりたいこと」を整理し、一枚の企画書を作成する実習を行いました。

ワークショップの様子。質問・回答を重ねること
で課題や目標が見えてきた。



初日は、身につけたいこと、めざすものを明らかにし、
研修の到達目標を設定した。



2日目は、企画を立てる上での基本的な考えから、
一枚企画書の作成について学んだ。



1-b 平成22年度 石川地域づくり塾の報告

地域づくり塾の一環として、全国から地域づくりのリーダーが集まる「地域づくりコーディネーター研修（主催：地域づくり団体全国協議会）」に参加しました。コーディネーターやリーダーの役割、組織の在り方などの事例を学びながら、団体での活動の課題解決のヒントを会得すること、全国各地で活躍する地域づくりのリーダーとの交流を深め、ネットワークを築くことを目的としています。ここでは、参加した石川ツーリズム研究会 藤橋由希子さんのレポートを紹介します。

地域づくりコーディネーター研修

石川ツーリズム研究会 藤橋由希子

8月30日から1泊2日の日程で「地域づくりコーディネーター研修」が東京で開催されました。私は今年度の「地域づくり塾」塾生として、この研修に参加しました。

今回の研修は大きく2つのテーマに分かれています。1つめは地域づくりコーディネーターの資質を理解するために、3氏のパネラーから取り組み内容や現場で必要とされてきた能力が紹介されました。地域づくりというと、地域に存在する共通課題を克服するために地域内外で連携してゆく事と考えていましたが、ところ変われば形も変わるようで、必要な能力もいろいろです。今回さまざまな取り組みを知ることができたことは、自分にとって収穫でした。また、コーディネーターというと、大きな舵取りをしなくてはならない立場で、頭で考えるととても難しいように思うのですが、今回のパネラーの方々は、いずれもコーディネーターという概念にとらわれず活動されている点が面白かったです。実際の現場ではそんな肩書は不要です。

2つ目のテーマはそんなコーディネーターの進化論

として、地域課題の解決と経済振興の両立について、考え方の一助となる取り組みの報告がありました。対立する者同士が協力し合える仲間になった事例報告は、なるほどと思えるもので、とてもためになるお話でした。

最後に全員で行った、紙ベースのツイッターでは、それぞれの参加者が日ごろ抱えている疑問や不安などを全員で共有し、あわよくばその場で問題解決が可能というものでした。参加者はいずれも自身の取り組みに対しての不安や、自分の立場で何かできるかという疑問を持っていることがわかり、地域づくりというテーマの下では全国にたくさんの仲間がいるということが、理解できたのではないかと思います。

今回このようなテーマの研修には初めて参加しましたが、最終的に思ったことは、地域づくりには答えがないということ。参考事例に対する理解や活用方法は、その地域ごとに違うので、答えは自分たちで模索するしかありません。ただし、色々な事例を知る事は、自身の取り組みの進展や内容に大きく影響します。地域づくりに真剣であればあるほど、他の事例も知っておく必要があると思いました。

全国から地域づくりのリーダーが集まった。



第一セッションは「コーディネーター人物論～今求められるコーディネーターの資質～」、第二セッションは「コーディネーター進化論～地域課題の解決と経済振興の両立～」をテーマに行われた。



1-c 平成22年度 石川地域づくり塾の報告

9月18日～20日に、濱コーディネーターを講師に、熊本県人吉市、鹿児島県鹿屋市での視察研修を行いました。実際に現場を訪ねキーマンに直接話を伺い、先進事例の成功の秘訣や失敗の教訓を学び、今後に活かします。ここでは、参加した能美の里山ファン倶楽部 村本志朗さんのレポートを紹介します。

先進地視察

熊本県「ひまわり亭」「古時香」 & 鹿児島県「やねだん」 能美の里山ファン倶楽部 村本志朗

■ 熊本県「ひまわり亭」「古時香」

人吉市の農村レストラン「ひまわり亭」は、古民家的な雰囲気の内や球磨川沿いの立地環境がとても素敵でした。オーナーである本田節さんは、とても熱い思いを持たれた方で、お話を聞く中で、行動することの重要性や一緒にやってくれる仲間、後継候補者育成の大切さを感じました。活動を長続きさせるためにお金もうけ（居場所・いきがづくり+自主財源確保）を始め、有限会社化し社会への責任を持たせたということでした。そのほか、「お世話」「おせっかい」の大切さや「きれいごとだけで人はつながらない」ことも学びました。

農家民泊「古時香（ことか）」では、家主の深水さん夫婦の物腰柔らかな人柄、地元の食材を使った心温まる料理、そして、ひまわり亭で研修している若者との交流など、農家民泊のいいところを存分に味わうことができました。

■ 鹿児島県「やねだん」

続いて訪れた鹿屋市の「やねだん」こと柳谷町内会の「行政に頼らない『むら』おこし」のスタートは、集落の現状に危機感を持った高齢者の方々が、慣例だった60歳半ばの自治公民館長役を50歳半ばの豊

重哲郎さんに依頼したことでした。「やねだん」といえば豊重さんというようなイメージがありましたが、この年配の方々の決断は非常に重要なポイントだと感じました。豊重さんは、自営業や地元中学校バレーボール部で長年コーチをしてきた経験などから、自主財源や組織体制、そして何よりも常に先（未来）を見ながら集落運営をされており、情熱と冷静さをうまく使い分けているなど感じました。単に熱い思いでグイグイひっぱるイメージとはまったく違いました。「人がまとまるのはノウハウでなく『感動』だけ。命令形では動かない」という言葉が心に残りました。「目と目で語る」「仲間のフルネームをすべて覚える」「感謝することの大切さも改めて実感しました。後継候補者の育成もうまくされているなど思いました。

この研修を終えて思ったことは、地域の人たちが、自分たちの地域にある「人」という社会資源をしっかりと把握し、手を取り合って活動していくことの大切さと、強い思いを持ち行動できる人の必要性です。本田さんと豊重さんという全国的にも知名度のある素晴らしい方と話せた今回の研修は、これまでも増して、非常に貴重な体験でした。ぜひ、自分たちの活動につなげていきたいと思えます。

「古時香」での夜なべ談義。



ギャラリー「やねだん」。やねだんでは、集落の人で改装した空き家に芸術家が入居している。



集落のヒット商品、土着菌の説明をする豊重さん。土着菌や焼酎づくりにより自主財源を増やした。



1-d 平成22年度 石川地域づくり塾の報告

8月と10月の2回、県内の地域づくり団体の活動に参加する実践研修を行いました。8月の研修では、赤須治郎コーディネーターを講師に「こまつ賑わいセンター」の活動から、10月の研修では、高峰博保コーディネーターを講師に「能美の里山ファン倶楽部」の活動から学びました。

地域づくり活動団体に学ぶ

■ 8月8日 こまつ賑わいセンター編

こまつ賑わいセンターでの研修では、小松市駅前の商店街で10年ぶりに行われた「市」や、同日に開催された駅前でのイベントに参加しながら、賑わいづくりの仕掛けや仕組みについて考えました。

最初に、こまつ賑わいセンターの村本さんから、こまつ賑わいセンターは、平成12年にまちづくり会社（TMO）として設立され、ハード中心の取り組みから、現在は「ばか者（『小松うどん』等の新しい取組）」「若者（小松短大、市内高校の学生をメンバーとした『ふるさと塾』）」「女性（女性起業家グループによるイベント実施等）」の3つに軸を置いた、ソフト中心の活動にシフトしていることや、当日駅前商店街で行われた「市」復活の商店街の現状について話を伺いました。その後、講師の視察アドバイスに基づいて、商店街、駅前の視察を行い、振り返りワークでは、地域資源の活かし方、イベントの目的の明確化や共有化について話し合いました。

■ 10月16日 能美の里山ファン倶楽部編

この日は、能美の里山ファン倶楽部が行う「ほっこり祭り」の中のイベントである「遣水観音山ガイドハイク」に参加しました。

終了後、参加メンバーとガイドハイクのスタッフで、ツアーのテーマ設定、ブランドの定着のさせ方、付加価値のつけ方、PRの方法、周辺の観光・医療機関との連携等について、意見交換を行いました。

地元ガイドの案内を聞きながら里山をめぐるガイドハイク。



石川地域づくり塾開催日程

日時	場所	内容	講師
1 7/3(土)・7/4(日) 終了	石川県青少年総合研修センター	■ 開講式 ■ ワークショップI「研修の到達目標」 ■ ワークショップII「課題解決や目標の設定」 ■ ワークショップIII「企画とは何か」 ■ ワークショップIV「企画を実現させるには」	森山奈美氏・濱 博一氏
2 8/8(日) 終了	こまつ賑わいセンター	■ 地域づくり活動団体に学ぶ(現場の活動に参加)	赤須治郎氏
3 8/30(月)・8/31(火) 終了	東京都「ルポール麹町」	■ 地域づくりコーディネーター研修に参加(先進地事例を学ぶ、全国の地域づくり実践家と交流、新たなネットワークづくり)	森山奈美氏
4 9/18(土)～20(祝) 終了	熊本県人吉市 鹿児島県鹿屋市	■ 先進地視察「地域づくりの原点を学ぶ」	人吉市「ひまわり亭」代表取締役 本田 節氏 柳谷自治公民館長 豊重哲郎氏 濱 博一氏
5 10/16(土) 終了	能美の里山ファン倶楽部	■ 地域づくり活動団体に学ぶ(現場の活動に参加)	高峰博保氏
6 11/7(日) 終了	加賀市「竹の浦館」	■ 石川地域づくり円陣に参加	石川地域づくり協会コーディネーター
7 11/12(金)・13(土) 終了	青森県青森市	■ 地域づくり団体全国研修交流会に参加(先進地事例を学ぶ、全国の地域づくり実践家と交流、新たなネットワークづくり)	赤須治郎氏
8 2月(予定)		■ 研修成果報告会 ■ 受講生の今後の取り組み活動について ■ 閉校式	水野雅男氏

2-a 地域づくり活動の紹介

県内では、各地域づくり団体が、それぞれの手法により地域づくり活動を展開しています。今回は、その中から「どぼんこ・さるたひこ地域協議会」「じっくらーと」の活動を紹介します。

どぼんこ・さるたひこ 地域協議会 (七尾市)

七尾市中島町の西岸の民俗行事として、豊作を願う「虫送り」(田に虫がつかないように松明を灯し地域をまわる行事)や収穫を感謝する「お熊甲祭」(20m超の大旗を担いで練り歩く行事)があります。近年、過疎化や少子高齢化による人手不足が深刻で、これら行事の保全・継承のため平成20年に結成されたのが「どぼんこ・さるたひこ地域協議会」です。

学生などの若者を祭りに呼び込み地域力として育成・定着を図る、祭りの形態に近い集落と支えあう体制をつくる、地域の子もたちにふるさと教室を実施し後継者を育成する、の3つの視点から活動しています。一度祭りに参加した学生、その後輩、と続き、40人ほどの学生が毎回参加してくれているように、顔見知りの関係から協力者が増えていくことを大切にしています。

「周りの地区にも広がっていけばいいな。能登では祭りは特別なものやからね、生きがいにしている人がいる。」と会長の津田さんがおっしゃいました。祭りへの熱意が地域の力をつくっています。

※団体名は、お熊甲祭で担ぐ杵飾り「ドボンコ」と、行列を先導する道案内の神様「猿田彦」に由来。

祭りに参加した学生を対象に七尾湾で里海体験。



じっくらーと (能登町)

平成21年の秋から活動をはじめた「じっくらーと」は、「焦らずじっくり」能登町恋路の茶畑再生に取り組んでいます。

40年間手をかけられずに荒れていた茶畑の整備に着手できたのは、地域づくりコーディネーター赤須氏の助言と、紅茶を商品化している畦地氏(株)四万+ドラマ)が能登でのセミナーでおっしゃった「継続し続ける限り失敗しない」という言葉があったから、とメンバーの濱野幸子さん。結婚を機に能登町へ越してきた幸子さんは、「恋路にあるものをいかして何かしたい」という長年の想いに踏み込めた、と語ります。

今年の春初めて行った茶摘と加工はすべて手作業、小さい芽が出てきたところですが、自分たちの動きが恋路を盛り上げることに繋がっていけばと考えています。

摘んだ茶葉で紅茶をいただいてももらったり、地の食と紅茶を合わせた食事をしてもらったり、将来的に外から人が来る仕組みになれば、と話す輝く目から、活気にあふれる恋路の姿が見えた気がしました。

※団体連絡先については石川地域づくり協会HPをご覧ください。

茶畑はまだ再生途中。5月、茶葉を一部手摘みした。



3-a 「いしかわ地域づくり円陣2010」を開催

11月7日、加賀市で、石川地域づくり協会主催の研修交流会「いしかわ地域づくり円陣2010」を開催しました。今年は「われら win-win 同盟! 地元を元気にする協働のシカケとシクミ」をテーマに、加賀市で活躍する地域づくり団体による5つの分科会と、全体会が行われました。ここでは、速報をお届けします。詳しくは、「地域づくり円陣2010」報告書でお知らせします。

われら win-win 同盟! 地元を元気にする協働のシカケとシクミ

「竹の浦館」

今年のメイン会場は、加賀市大聖寺瀬越町の竹の浦館。



第1分科会

「スローフードとまちづくり<加賀版>~漬物コンクールをまちづくりに変えるシクミとシカケを考える~」(竹の浦館ホール)



第2分科会

「城下町大聖寺の景観まちづくり~失敗にめげない活動報告~」(加賀市大聖寺周辺)



第3分科会

「地域ブランドはこう創れ!~ゼロから地域ブランドを立ち上げた仕掛け人に聴く~」(竹の浦館和室)



第4分科会

「まちの魅力で人を巻き込め!~地域内組織の協働にみる、事例と課題~」(山代温泉「はづちを楽堂」)



第5分科会

「石川の多文化共生の進化、深化、新化をさぐる~在住外国人の仕事づくり×訪日外国人を増やすには~」(加賀市熊坂町「蘇梁館」)



石川地域づくり表彰式

団体部門大賞の「特定非営利活動法人竹の浦夢創塾」による活動報告。



全体会での分科会報告

会場のみなさんを巻き込んで盛り上がりました。



ひな壇トーク!

「地域づくりとwin-winの関係」各分科会のゲスト・コーディネーターのみなさんが「win-winとは?」「あなたの口説き文句は?」などをテーマにパネルトークを展開。



地域自慢の特産物がたくさん集まった交流会

ともに地域を盛り上げていくことを誓い合って、今年の円陣は幕を閉じました。



「NEWS & INFORMATION」はあなたの団体のイベント告知や、活動メンバー募集などを掲載するページです。掲載ご希望の団体は事務局までご連絡下さい。

なかのとファッションフェスタ 2010 ～なかのと大物産展も同時開催～

イベント

参加のお問合せ 0767-72-2121

合織織物の町「中能登町」で、全国の学生から公募した作品をファッションショー形式で審査する「デザイン競技大会」や、中能登町の合織織物とプリントデザインを発信するファッションショーなどを行います。中能登町の地場産品を一同に集めた中能登大物産展も同時開催。

- 開催日時 平成 22 年 11 月 28 日 (日)
ファッションフェスタ 14:00～17:00
大物産展 10:00～16:00
- 会場 中能登町カルチャーセンター飛翔
(中能登町能登部 134-1)
- お問合せ 中能登町役場企画課 TEL.0767-74-2806
中能登町商工会 TEL.0767-76-1221
中能登町織物デザインセンター TEL.0767-72-2121

グルメ・かがやき! 2010 かがやきプロジェクト TAKE OFF!

イベント

参加のお問合せ 0761-73-0001

加賀で「焼く」メニューを「輝き」とかけて「かがやき」と称し、内外にPRする食のキャンペーン「かがやきプロジェクト」のスタートを記念して、食の祭典を開催します。かがやきプロジェクト参加店のうち、約20店が自慢の味を販売します。

- 開催日時 平成 22 年 12 月 5 日 (日) 10:00～15:00
- 会場 JR「加賀温泉」駅前
- お問合せ 加賀まればと交流協議会(加賀商工会議所内)
TEL.0761-73-0001

「いしかわ食のてんこもりフェスタ」を開催!

参加のお問合せ 076-225-1312

石川の豊かな食材や食文化を活かして県内各地で展開されているご当地グルメが一堂に会するイベントを開催します。詳しくは、県HPからお知らせします。

ようこそ味覚半島・ 能登へ!

イベント

冬の能登は、海の幸が次々に旬を迎える美味しい季節、週末には食に関する催しが目白押しです。

能登寒ぶりまつり特別イベント

- 開催日時 平成 23 年 1 月 16 日 (日)
- 会場 宇出津新町商店街特設会場
- お問合せ 能登町商工会 TEL.0768-62-0181

※1月9日(日)～2月13日(日)は、能登町内の飲食店で寒ぶり料理などを
お楽しみいただけます。「能登寒ぶり」と書いた赤いのぼり旗が目印です。

七尾湾能登かき祭り特別イベント

- 開催日時 平成 23 年 1 月 22 日 (土)・23 日 (日)
- 会場 のと鉄道能登中島駅前広場
- お問合せ 能登鹿北商工会 TEL.0767-66-0001

※1月9日(日)～3月6日(日)は、七尾市中島・田鶴浜・能登島地区の協賛飲食店で能登かきをお楽しみいただけます。また、中島駅前の特産品直売所「のとちゃん」横に焼かき手軽に食べられる「焼かき広場のとちゃん」をオープンしました。(営業期間/11月27日(土)～4月(火曜定休)、営業時間/10:30～15:00)

能登島ごっつおまつり特別イベント

- 開催日時 平成 23 年 2 月 6 日 (日)
- 会場 能登島道の駅交流市場前特設会場
- お問合せ 能登鹿北商工会 能登島支所
TEL.0767-84-1087

※1月9日(日)～3月6日(日)は、能登島内の協賛飲食店で島鍋、鱈料理等をお楽しみいただけます。

イベント

- 開催日時 平成 23 年 1 月 23 日 (日)
- 会場 県産業展示館 3 号館
- お問合せ 石川県企画振興部地域振興課 TEL.076-225-1312
- URL <https://www.pref.ishikawa.lg.jp/shinkou/>